

(様式第4号)

## 上田市文化芸術に関する基本構想策定委員会審議会 会議概要

1	審議会名	第1回 第二次上田市文化芸術に関する基本構想策定委員会
2	日 時	平成27年9月1日(木) 午前10時00分から午前12時00分まで
3	会 場	上田市教育委員会第1会議室
4	出席者	児玉会長、岩下副会長、大滝委員、宮下委員、松橋委員、間島委員、畑中委員、小宮山委員、竹花委員、南村委員、小林委員、増田委員、吉田委員、津村委員、上沢委員
5	市側出席者	教育長、教育次長、文化振興課長、地域文化係長、文化財保護担当係長、交流文化芸術センター副館長、総務担当係長、美術館館長、美術館館長補佐
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者 0 人	記者 0 人
8	会議概要作成年月日	平成 27年9月7日
協 議 事 項 等		
1	開 会	(西入教育次長)
2	あいさつ	(小林教育長)
3	人事通知書の交付	
4	委員・事務局職員の自己紹介	
5	策定委員会組織と役割について	資料2「上田市文化芸術振興に関する基本構想策定委員会設置要綱」(事務局説明)
6	会長・副会長の選出	児玉委員長、岩下副委員長を選任
7	諮問	教育委員会から策定委員会への構想の諮問書を、小林教育長から児玉会長へ手渡し。
8	報告事項	(1) 文化芸術振興の法的な背景について 資料3「文化芸術振興基本法(国)」、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」(事務局説明) (2) 基本構想策定の位置付けについて 資料4、別紙「第二次総合計画(案)」(事務局説明) (3) 前回の構想における基本的な施策の現状と課題について(事務局説明) (事務局)今日は報告事項として出ささせていただき、次回協議では、何が課題で、そのために何をするのかを話し合っていきたい。 (会長)特に現状や実績、それから市のほうで分析した結果の課題ということを中心にして、事前学習をしてきていただきたい。
9	協議事項	(1) 策定委員会の運営方針について 資料6(事務局説明) 【資料6運営方針案について】 ・ 案(開催日、場所、資料の事前配布、資料の要点無記名公開等)について承認 【テレビカメラによる取材について】 ・ テレビカメラの取材対応については、事前協議する。 (2) 基本構想の構成及び骨子について 資料7(事務局説明) 事務局から提示された構成案について承認 (3) 今後のスケジュールについて 資料8(事務局説明)

#### (4) その他

##### (委員から出された主な意見)

- ・ 今までの課題と問題をお聞きしてそれを達成していくのが一つだろうと思います。それから基本計画、総合計画と方向性が合って、一致していないといけませんはどうなっていますか。
- ・ 国の基本方針が文化庁から出されているので最新の指針を確認させていただき、計画を立てたほうが良い。
- ・ ここ数年でこの国の文化芸術の方向性はもの凄く変化している。それが第四次基本方針に反映されている。この会議ではいわゆる基本構想をやることなので、ある程度大きな枠の中で進めていかないと、大変になってしまう。文化芸術においてこのまちをどうしていきたいのか、という一番大きなことを話し合い、皆で議論していき、そこからどういう政策を考えれば良い。
- ・ 色々な地域の活動があり、当然そのあたりも把握されていると思いますが、次回以降サントミュージゼ以外にも真田、丸子、武石、その他地域のことも踏まえて現状を広く知りたい。
- ・ 行政の棲み分けになるかもしれませんが、社会教育、公民館の文化活動の状況を付けて頂けたらと思います。サントミュージゼがいくら大きい施設といっても上田市全体を網羅しているわけではない。市民の皆さんのアンケート集計結果を見ますが、その裏に隠れているものがよくわかりません。公民館の文化教育活動は非常に活発だと思いますし、力を入れて施設を開拓したり体制を変えたりしています。今後、そのような関係も大きいと感じます。
- ・ 第二次総合計画の「文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり」で風格という言葉を使っている。風格という言葉が、ある程度歴史的な重みとかそういうものを感じる言葉だが、この辺をどのように捉えているのか。
- ・ サントミュージゼの使い方色んなことが解決出来るみたいな風に読めてしまって、本当はそうじゃないと思います。上田は城下町で、歴史と伝統があると思いますが、サントミュージゼでなく地域でたくさんやっていくことがあると思います。それも本当は盛り込みたいけれど、サントミュージゼが前面に出てしまっている内容に聞こえてしまい、もっと違うところも盛り込みたい。

(会長) 国によって理念、方向性が定められたことに、私どもが具体的に一つ一つやっていくのは非常に難しい。第一次の基本構想に対して、これだけの達成度でこういう問題点が残っているということを集散的に討議をしながら、新たな構想と新たな対策が必要である。ここではあくまで方向性を示していき、それを具体化していくのは実際に文化活動をしている皆さんや団体であり、それを支援する行政側の施策です。具体的な現状の共通の理解をすることが大事であると思う。分野は、私どもそれぞれ違うので分からないことも一杯ありますから、そこも踏まえての会議にし、新たな10年間の構想にしていきたい。

#### 9 事務連絡

第2回策定委員会の日程について 9/30

#### 10 閉 会 (教育次長)

- \* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- \* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。